

(平成18年度予算額)

(平成19年度内示額)

## ○ 院内感染対策関の推進

45,360千円

→

50,211千円

## 1. 院内感染中央会議経費

890千円

→

854千円

我が国の院内感染に関する総合的な企画立案等を行うための「院内感染中央会議」を設置する。

(開催回数) 年2回

(経費の概要) 会議出席謝金・旅費等

## 2. 院内感染地域支援ネットワーク補助事業

3,784千円

→

3,784千円

院内感染対策の取り組みが遅れている中小病院等に対して、地域における支援体制の整備を図るため、地域の専門家からなるネットワークの構築等により、中小医療機関が速やかに相談・助言できる体制を整備する。

(対象地区数) 8地区

(補助先) 都道府県

(補助率) 1/2 (負担割合：国1/2、都道府県1/2)

## 3. 薬剤耐性菌感染症発生動向調査費

12,026千円

→

11,983千円

MRSA等の院内感染を引き起こす薬剤耐性菌感染症の発生動向調査体制を確立し、問題のある薬剤耐性感染症の早期警告や院内感染対策指針の作成、さらには抗生物質の適正使用等の対策を実施する。

(経費の概要) 検討会出席謝金・旅費、システム開発経費等

## 4. 院内感染対策情報公開事業

4,543千円

→

4,543千円

国立感染症研究所において、平成12年度から実施してきている薬剤耐性菌感染症発生動向調査より得られたデータの充実を図り、新たな知見に専門家による解説・注意喚起等を加えて、院内感染の情報を国民に対して積極的に公開する。

## 5. 院内感染対策相談窓口

4,189千円

→

4,189千円

院内感染事例が発生した場合、医療従事者は極めて迅速な対応が要求され、必要な処置・対策について適切な助言を得て、感染拡大を防止することが大切である。このため、医師・看護師・薬剤師等の医療従事者の相談に対し、速やかに対応する窓口を設置する。

## 6. 院内感染対策講習会経費

19,928千円

→

24,858千円

医療従事者に対し、院内感染に関する正確な知識の普及と意識の高揚を目的とした講習会を開催する。

(対象者) 医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師